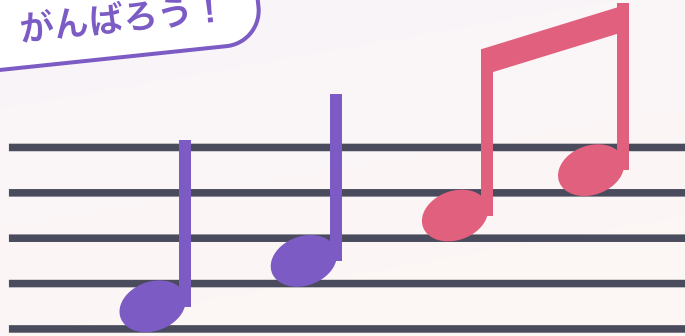


本番、がんばろう！



緊張するけど楽しみ！

発表会をしよう

みんなで作り上げる、晴れの舞台



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

発表会をつくる	3～8
会場をととのえる	9～11
本番へ	12～15
聴く人と分かち合う	16～19
練習しよう	20～24
ふり回り	25～30

どんな発表会にするか、形とプログラムを決めよう。

- ソロ・グループ・合唱など、発表の形は目的や人数に合わせて選びます。
- プログラムには、演奏する曲名・演奏者・順番をまとめて書き出します。
- プログラムがあると、聴く人にも演奏する人にも見通しが立ちます。

1. 自分たちの発表会にふさわしい形を1つ考えて書こう。

曲の並べ方で、発表会全体の流れが変わります。

- 元気な曲とおだやかな曲を交ぜると、聴いている人もあきずに楽しめます。
- 最初と最後に、印象に残りやすい曲を置くのも1つの工夫です。

1. 3曲並べるとしたら、どんな順番にしたいですか。理由も書こう。

発表会は、演奏する人だけで作るものではありません。

- 司会、音響、会場係など、演奏以外にもたくさんの役割があります。
- 得意なことを生かして役割を分担すると、みんなが発表会に関われます。

1. 自分がやってみたい役割を1つ書こう。

練習スケジュール

本番から逆算して、練習の計画を立てよう。

本番の日

通し練習をする日

部分練習に使う日

休む日

Ken の例

本番の日 発表会当日／通し練習をする日 本番の3日前／部分練習に使う日 むずかしい部分を先に
／休む日 のどを休める日を1日つくる

ポイント

- 本番の直前に詰め込みすぎず、余裕をもった計画を立てましょう。

書いて覚えよう

本番の前に、通しで確認する練習をしよう。

rehearsal

本番と同じ流れで行う、最終確認の練習

ポイント

- リハーサルでは、入場から退場まで、本番と同じ流れを確認します。
- 音の大きさや立ち位置など、本番でしか気づけないことを見つける機会にもなります。

やってみよう

1. リハーサルで確認したいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

気持ちよく演奏できる会場をととのえよう。

- いす並べ、楽器の配置、マイクなどの道具の確認は、演奏前に済ませておきます。
- 会場の準備をみんなで分担すると、当日あわてずにすみます。

1. 会場の準備で必要そうなことを2つ書こう。

- 入場は、落ち着いた足取りで、決めた立ち位置まで進みます。
- おじぎは、演奏の前後にゆっくりと行くと、丁寧な印象になります。

1. 入場からおじぎまでの流れを、友だちと1回練習してみよう。



次の曲は何て紹介すればいいかな。



曲名と、聴いてほしいポイントを短く伝えるといいよ。

- 長々と話すより、曲名と一言の見どころを短く伝えると聴きやすくなります。
- 紹介の言葉は、事前に紙に書いて練習しておくとう安心です。

1. 自分の演奏する曲の紹介文を、2文で書いてみよう。

本番に向けて、心の準備をととのえよう。

- 完璧を目指すより、練習してきたことを出しきる気持ちで臨みましょう。
- 前日はしっかり休み、当日は水分や声の調子を整えておきます。

やってみよう

1. 本番の日、いちばん大切にしたい気持ちを1つ書こう。

書いて覚えよう

緊張は、なくすものではなく、付き合うものです。

- 緊張は、真剣に取り組んでいる証拠でもあります。なくそうとしすぎなくて大丈夫です。
- 深呼吸をする、体を軽く動かすなど、自分に合った落ち着け方を見つけましょう。

やってみよう

1. 自分が緊張したときに効きそうな落ち着け方を1つ考えて書こう。

ワンポイント 緊張して手足が冷たくなったり、声がふるえたりするのは、多くの人に起きる自然な反応です。

書いて覚えよう

まちがえても、止まらずに演奏を続けよう。

- 本番中にまちがえても、あわてず、そのまま演奏を続けることがいちばん大切です。
- 多くの場合、聴いている人は小さなまちがいに気づかないものです。

やってみよう

1. まちがえても止まらずに続ける練習を、一度やってみよう。

書いて覚えよう

- 演奏中は静かに聴き、終わったら拍手で気持ちを伝えます。
- スマートフォンの音が鳴らないよう、あらかじめ設定を確認しておきましょう。

やってみよう

1. 聴く人として気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

記録（録音・録画）・片づけ

発表会の思い出を残し、最後まで責任をもって終えよう。

ポイント

- 録音・録画をするときは、演奏する人や会場の許可を確認してから行いましょう。
- 会場の片づけまでが発表会です。いすや道具を、みんなで元の場所にもどしましょう。

やってみよう

1. 片づけで自分にできそうな役割を1つ書こう。

書いて覚えよう

- 良かったところ、次に生かしたいところを、みんなで話し合うと、経験が次につながります。
- 自分だけでなく、仲間のがんばりも言葉にして伝えましょう。

1. 発表会をふり返り、良かったところを1つ書こう。

今回の経験を、次の発表会に生かそう。

今回の経験を、次の発表会に生かそう。

ポイント

- 今回できたこと・むずかしかったことをメモしておく、次の準備に役立ちます。
- 1回ごとの発表会が、少しずつ自信につながっていきます。

やってみよう

1. 次の発表会に向けて、挑戦したいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

20

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

本番を想定して、入場から演奏までを練習しよう。

- A (入場して) 失礼します
- B (拍手で迎える)
- A (曲紹介) _____
- A (演奏後おじぎ) ありがとうございました
- B (拍手)
- A (退場して)

ポイント

- 入場から退場まで、本番と同じ流れで一度通してみましょう。

ワンポイント 何度か通して練習しておく、本番でも落ち着いて動けます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、次に生かせる発見です。

つまずき

よくあること

緊張で声が小さくなる

自信のなさが出てしまう

まちがえて止まる

気にしすぎてしまう

準備がぎりぎりになる

計画が後回しになる

コツ

こうしてみよう

深呼吸してから始める

落ち着いてから声を出す

止まらず先に進む

まちがいは後で直す

早めにスケジュールを立てる

余裕をもって準備する

ポイント

- 1つずつコツを試しながら、自分に合ったやり方を見つけましょう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

準備の言葉

☐ プログラム

曲名・演奏者・順番の一覧

☐ 役割分担

演奏以外の仕事を分けること

本番前の言葉

☐ リハーサル

本番前の最終確認の練習

☐ 曲紹介

演奏の前に曲を紹介する言葉

本番の言葉

☐ 本番の心がまえ

落ち着いて臨む気持ち

☐ 緊張

本番前後の自然な反応

終わったあとの言葉

☐ ふり返りの会

感想を伝え合う集まり

☐ 聴く人のマナー

静かに聴き拍手で伝えること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|------------------|
| プログラム | ● | ア. 感想を伝え合う集まり |
| リハーサル | ● | イ. 曲名・演奏者・順番の一覧 |
| 曲紹介 | ● | ウ. 本番前の最終確認の練習 |
| 緊張 | ● | エ. 演奏の前に曲を紹介する言葉 |
| ふり返りの会 | ● | オ. 本番前後の自然な反応 |

2. 発表会の準備でする言葉を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 本番前に行く最終確認の練習 → (リハーサル / プログラム)
2. 終わったあとに感想を伝え合う集まり → (ふり返りの会 / 曲紹介)

書いて覚えよう

その日の練習メニューを確認する

曲紹介の言葉を声に出してみる

深呼吸で落ち着く練習をする

むずかしい部分を部分練習する

今日の練習をノートに書く

家族の前で一度通してみる

- 1回5分でも、毎日少しずつ準備を進めると、本番に自信をもって臨めます。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

発表してみよう・感想を書こう

発表会の経験を、自分の言葉で残そう。

発表した曲

役割

緊張したこと

うれしかったこと

Emma の例

発表した曲 好きな歌のワンフレーズ／役割 演奏と司会／緊張したこと 出番の直前／うれしかったこと 拍手をもらったこと

感想を3文で書こう

① 発表会を終えて、～な気持ちになりました。② とくに、～のところがうれしかったです。③ 次は、～に挑戦したいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

発表会の経験を、次の学びに生かそう。

もっと知りたい人へ

地域の発表会へ

他の人の演奏を見に行く

動画で

本番の立ちふるまいを見る

仲間と

次の発表会の計画を立てる

次のステップ

鑑賞

音楽をじっくり聴く力

表現

気持ちを込めて伝える力

続ける力

次の目標に向かう力

ポイント

- この教材の次は「音楽鑑賞のコツ」。今度は聴く側の力を育てていきます。

書いて覚えよう

1. 発表会とは、どんな場ですか。 _____
2. いちばん印象に残ったページは？ _____
3. 次に挑戦してみたいことは？ _____

発表会のふり返りを書く

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

発表会をしようチャレンジ

小さな発表会は、すぐに始められます。

決めよう

発表する曲を1つ決める

伝えよう

曲紹介の言葉を考える

届けよう

家族の前で発表してみる

こたえ

L26 プログラム→イ リハーサル→ウ 曲紹介→エ 緊張→オ ふり返りの会→ア 2. プログラム / リハーサル / 曲紹介 3. リハーサル / ふり返りの会

L33 (例) 発表会は、練習の成果を届け、たがいに認め合う場。準備と心がまえが大切。

書いて覚えよう

発表会をしよう (Season 5 | No.50)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。